



学校だより

日野南小学校ホームページ

<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/hinominami/>



令和6年1月31日

2月号

横浜市立日野南小学校

『行動を起こす大切さ』

副校長 白岩 敬之

2024年1月1日午後4時10分、石川県能登地方を震源とするマグニチュード7.6の地震が発生し、津波や余震、地震に伴う火災により、多くの人命や日常生活が失われました。この地震では、数多くの道路が寸断されたり、海底が隆起し接岸が困難になったりして、物資を運ぶことができなくなり、半島で起きた地震の難しさを思い知らされました。そして、数週間たった今でも断水の地域も多く、トイレ問題や災害関連死など、震災は現在進行形で続いている状態です。



そんな中、本校の4年2組が、1月13日(土)に日野南小で行われた「地域合同お楽しみ会」で募金活動を行いました。もともと総合学習で地域の人を笑顔にするための活動を続けていて、今回も合奏の発表やお手伝いでの参加を予定していましたが、能登半島地震を受けて、「今、自分たちにできること」はないかとクラスで話し合い、急遽、募金活動をすることになりました。当日は、3時間という短い時間でしたが、合計39,318円という金額が集まりました。なかには、自分のお小遣いから1,000円も募金してくれた小学生もいました。金額の大小は関係ありませんが、この短時間にこれだけの金額が集まったということは、それだけこの震災への関心の高さと、子どもたちの呼びかけに対して、たくさんの方々にご賛同いただけたからこそだと思います。お預かりしたお金は、石川県災害義援金としてお送りさせていただきました。4年2組の行動力と地域の皆様のあたたかいお気持ちは、きっと被災地の皆さんに届くことでしょう。

遠い離れた地域で起きた震災などでは、実際にできることが少なく自分の無力さを感じてしまいます。しかし、今回の4年2組の活動から「行動を起こす大切さ」を改めて実感することができました。災害はいつ自分の身に降りかかるかわかりません。他人事ととらえず、助け合いの精神をもち、今、自分にできることを考えて行動を起こすということこれから大切にしていきたいと思います。